

## 令和4年度 第1回 都田南小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年4月18日（月） 15時30分から17時00分まで
- 2 開催場所 都田南小学校 ふれあいルーム
- 3 出席委員 馬淵 信夫、山下 泰弘、石田 由紀子、長谷川 卓人、牧田 景子
- 4 欠席委員 神間 智博
- 5 事務局 鵜飼和生、大石 智香子、谷野 文彦、服部 美保
- 6 オブザーバー 教育総務課 小川氏、都田協働センター 野中氏
- 7 傍聴者 0人

### 8 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 夢育やらまいか事業について

### 9 その他

- (1) 自転車教室実施報告
- (2) 今後の学校支援活動について

### 10 会議録作成者 事務局 服部美保

### 11 会議記録

司会の谷野から委員総数6人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

鵜飼校長より、着任の挨拶があった。また、前年度会長の馬淵氏より、今年度の協議会会長を引き受けてくれる人はいないか意見を求めたところ、山下委員が快諾し全員異議なくこれを承認した。山下会長が石田委員を副会長に指名し、全員異議なくこれを承認した。

#### (1) 学校運営の基本方針について

学校運営の基本方針について鵜飼校長より資料に基づき説明があった。キャッチフレーズは「継承と挑戦」。昨年度までの都田南小学校を築き上げてきた人々の思い、開拓者の思いを継承しながら、変革と変容を恐れず、子供たちのためになることを取り入れる挑戦をしていく。学校経営目標は「進んで考え 共に学び 未来を拓く 都南っ子」とする。今年度も様々なところで力添えをいただきたい。

#### (2) 夢育やらまいか事業について

夢育やらまいか事業について大石教頭より資料に基づき説明があった。学校運営の基本方針を具現化するために有効に活用していく。具体的には、子供たちの学区探検や施設見学の際に連絡を取るための携帯電話のレンタル等を行う。

## 9 その他

### (1) 自転車教室実施報告

3月20日に行われた自転車教室について、牧田委員より報告があった。

参加者 小学生18人 保護者6人 地域ボランティア37人

(ボランティアさんが想定したよりも多く嬉しい悲鳴となった。中学校の先生も来てくれた。)

参加者の声 ・自転車屋さんが来てくれて、カバンの括り方や点検の仕方を教えてもらえて良かった。危険な場所も分かって良かった。(小学生)

・自転車屋さんの指導がとても良かった。先生と地域の人が協力していて温かいと思った。(地域ボランティア)

委員から以下の質問があった。

- ・今回の自転車教室ではボランティア活用アプリはどのように使えたのか。(山下委員)
- ・今回は地域の回覧板と南っ子応援団へのメールが主だった。この行事に合わせて注意箇所マップを作成し、小学生全員に配付をした。(牧田委員)
- ・この地図は中学生にとっても有効だと思う。事故防止にもつながり非常に良いと思う。(山下委員)
- ・先日訪問した中学校の交通教室で交通指導員の方に今年の中学一年生の子たちが2、3年生よりも自転車を慎重に乗っているとされた。これからは二・三年生にも伝えていきたいと思う。(牧田委員)

### (2) 今後の学校支援活動について

今後の学校支援活動について牧田委員より説明があった。現在要望があるのが図書館とまちづくり協議会のイベントについて。イベント用パンフレットを作成するが、片面を子供たちに考えてもらったら良いと考えている。委員の皆さんにアイデアをいただきたい。

- ・利用するのは授業中なのか。(石田委員)
  - ・授業では難しいかもしれない。子供向けのイベントでよいのでは。(牧田委員)
  - ・子供が小学生のときに地元のアート作品を見て、作家さんに手紙を書くということをしたことがある。(石田委員)
  - ・宝探しアプリというのがあって流行っているようだ。モニュメントのどこかに宝物みたいな物を隠して、宝探しのようなことをしても面白いと思う。(長谷川委員)
- このイベントについては継続審議とした。

長谷川委員より、ボランティア活用アプリについてプロジェクターにて説明があった。

- ・これまで、学校と地域をつなげるといって、アナログ的で持続が難しいという問題があった。その問題をデジタルで解決できないかと、ボランティア活用アプリを開発してきた。WEB化については2月下旬に完了し、登録ユーザーが50名を突破した。地域の活動にも活用するため、一般社団法人MIYAKODAの活動告知をアプリで行った。また、先日コミスク先進地である横浜市立東山田中学校のやまたろう本部を

訪問したことを報告。都田南小学校にも地域住民が訪れやすい場所が欲しいと感じた。プレハブ校舎の活用も視野に入れると良いのではないかと感じた。

委員から以下の意見があった。

- ・ボランティア活用アプリはとても使い易くなったと思う。使い易いというのは持続するための大切な要素。これからもっと広がるのではないか。(山下委員)
- ・先日の雑巾作りの画像も掲載されている。地域の草取りの様子もアップしてくれているので、地域の活動を知ることができるのは学校職員にとっても良い。(大石教頭)

#### その他報告事項等

司会から、次回会議は2022年6月16日(木)午後3時30分から開催する旨の報告があった。